

『「脱・国産材産地」時代の木材産業』

餅田治之・遠藤日雄 編著

これまでの地域資源を背景に形成された地域固有の生産構造であった「国産材産地」は、現在、先進的な木材加工技術と最新の情報処理技術を背景とした木材産業革新の動きのなかで、原木の集荷範囲はかつての「産地」の範囲には収まらないほど広域化しています。それとともに、木材供給においても、これまでの「地域」ないし「産地」が担うのではなく、大規模化した木材企業が主体的に担うという構造に変化してきました。

こうした動きを本書では「脱・国産材産地」と捉え、従来の「国産材産地」とは異なる木材生産・流通構造が形成されていることを、九州から四国、北関東、東北、北海道の地域分析をもとに明らかにし、現下の木材産業の特徴と性格を明らかにしたものです。

これは、脱「国産材」（国産材から離れる）を意味するものではなく、国産材供給を担う構造が変化したことを明らかにする意味で、「脱産地」を意図したものです。

「脱・国産材産地」時代の木材産業



餅田治之・遠藤日雄 編

公益社団法人 大日本山林会

- 第Ⅰ部 「脱・国産材産地」時代の木材産業の諸相
 - 第1章 「脱・国産材産地」時代の森林・林業・木材産業
 - 第2章 「脱・国産材産地」化を進める木材産業
 - 第3章 木材産業におけるクラスター構造
 - 第4章 統計データからみた国産材生産の新たな構造
 - 第Ⅱ部 「脱・国産材産地」化をめぐる周辺環境
 - 第5章 「脱・国産材産地」化を進める住宅・プレカット産業の展開
 - 第6章 「脱・国産材産地」時代の製品加工流通
 - 第7章 「脱・国産材産地」時代の林業経営の諸特徴
 - 第Ⅲ部 「脱・国産材産地」時代の地域的構造
 - 第8章 北海道における資源利用の変化と新たな木材産業の形成
 - 第9章 南東北・北関東における建築用材生産の新傾向
 - 第10章 中国地方における新・国産材産地形成
 - 第11章 四国における木材工業
 - 第12章 九州における「脱・国産材産地」時代の森林・林業・木材産業
- 補論

発行：公益社団法人 大日本山林会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル

TEL:03-3587-2551 FAX:03-3587-2553

・ご注文：山林会ホームページもしくはFAXにてご注文ください。

<http://www.sanrinkai.or.jp> FAX:03-3587-2553